

議事日程（一般質問日） 令和7年3月17日 午前9時開議

- 日程第 1 一般質問について
- 日程第 2 議案第 2号 令和6年度三重県桑名郡木曾岬町一般会計補正予算（第7号）について
- 日程第 3 議案第 3号 令和6年度三重県桑名郡木曾岬町国民健康保険特別会計補正予算（第4号）について
- 日程第 4 議案第 4号 令和6年度三重県桑名郡木曾岬町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）について
- 日程第 5 議案第 5号 令和6年度三重県桑名郡木曾岬町介護保険特別会計補正予算（第3号）について
- 日程第 6 議案第 6号 令和6年度三重県桑名郡木曾岬町下水道事業会計補正予算（第3号）について
- 日程第 7 議案第 7号 令和6年度三重県桑名郡木曾岬町水道事業会計補正予算（第2号）について
- 日程第 8 議案第 8号 木曾岬町職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例の制定について
- 日程第 9 議案第 9号 職員の勤務時間、休暇等に関する条例等の一部を改正する条例の制定について
- 日程第 10 議案第 10号 刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について
- 日程第 11 議案第 11号 木曾岬町国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について
- 日程第 12 議案第 12号 災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- 日程第 13 議案第 13号 デジタル社会形成基本法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について
- 日程第 14 議案第 14号 木曾岬町非常勤消防団員に係る退職報償金の支給に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- 日程第 15 議案第 15号 木曾岬町体育館の設置及び運営に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- 日程第 16 議案第 16号 木曾岬町立学校施設の開放に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- 日程第 17 議案第 17号 木曾岬町公共下水道条例の一部を改正する条例の制定について
- 日程第 18 議案第 18号 木曾岬町農業集落排水処理施設の管理に関する条例の一部

を改正する条例の制定について

- 日程第19 議案第19号 木曾岬町水道事業の水道の布設工事監督者を配置する対象  
工事並びに布設工事監督者及び水道技術管理者の資格基準  
に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- 日程第20 議案第20号 令和7年度三重県桑名郡木曾岬町一般会計予算について
- 日程第21 議案第21号 令和7年度三重県桑名郡木曾岬町国民健康保険特別会計予  
算について
- 日程第22 議案第22号 令和7年度三重県桑名郡木曾岬町後期高齢者医療特別会計  
予算について
- 日程第23 議案第23号 令和7年度三重県桑名郡木曾岬町介護保険特別会計予算に  
ついて
- 日程第24 議案第24号 令和7年度三重県桑名郡木曾岬町土地取得特別会計予算に  
ついて
- 日程第25 議案第25号 令和7年度三重県桑名郡木曾岬町下水道事業会計予算につ  
いて
- 日程第26 議案第26号 令和7年度三重県桑名郡木曾岬町水道事業会計予算につ  
いて
- 日程第27 議案第27号 木曾岬町消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条  
例の制定について

#### 本日の会議に付した事件

議事日程と同じ

#### 出席議員（8名）

1番	後藤紀子	2番	古村護
3番	鎌田鷹介	5番	加藤真人
6番	伊藤守	7番	服部芙二夫
8番	三輪一雅	9番	伊藤好博

#### 欠席議員（0名）

#### 議場出席説明者

町長	加藤隆	副町長	森清秀
教育長	伊藤芳彦	総務政策課長	小島裕紹
危機管理課長	坂倉丈夫	会計管理者	藤井光利
産業課長	中山重徳	建設課長	伊藤雅人
住民課長	伊藤正典	税務課長	神野美紀恵
教育課長	村上強	福祉課長	黒田和弘
子ども・健康課長	佐藤信恵	ふれあいの里所長	松本大

## 事務局出席職員

事務局 局長 多賀 達人 議会事務局 鈴木 琴音

=====

午前 9時 0分開議

○議長（三輪一雅議員） 皆様、おはようございます。

議員の皆様には、諸般何かとご多用のところ、ご出席賜り厚く御礼申し上げます。また、加藤町長をはじめ執行部の皆様方にも、ご出席いただきありがとうございます。また、今日はたくさんの傍聴の方、ご出席本当にありがとうございます。

さて、令和7年第1回定例会は3月5日に開会されまして、本日は一般質問日でございます。この後に行われます一般質問並びに議案審議に際しまして、慎重なご審議を尽くしていただきますようお願い申し上げます、開会の挨拶といたします。

ただいまの出席議員数は8名です。よって、定足数に達しておりますので、直ちに本日の会議を開きます。

本日の議事日程は、お手元のタブレットご覧のとおりでございます。

### 日程第1 一般質問について

○議長（三輪一雅議員） 日程第1、一般質問についてを行います。

一般質問の通告を受けておりますのは、

- ① 2番議席 古村 護 議員
- ② 6番議席 伊藤 守 議員
- ③ 5番議席 加藤 真人 議員、以上3名の方々でございます。

一般質問の発言の順番は、定例会初日の議会運営委員長報告のとおり、受付順に発言していただきます。なお、質問内容は、簡潔明瞭をお願いいたします。

それでは、はじめに、2番議席、古村護議員の質問を許します。

登壇の上、お願いいたします。

○2番（古村 護議員） 議長、2番。

○議長（三輪一雅議員） 2番議席、古村護議員。

○2番（古村 護議員） 改めまして、おはようございます。

議長の許可を得ましたので、令和7年第1回木曾岬町議会定例会一般質問日にあたり、通告書に従い、広域連携の推進について質問をさせていただきます。

人口減少社会において、高齢化の進行やインフラの老朽化などによる行政コストの増大が見込まれる中、行政サービス等を安定的、持続的、効率的に提供する方策として、広域連携の必要性は今後ますます高まっていくものと思われまます。

こうした中、令和6年3月に策定された木曾岬町第6次総合計画の前期基本計画にも行財政運営の現況と課題、取組として連携強化の推進が記述されていることから、住民の福祉の増進に向け、近隣自治体間との広域連携に係る情報収集の状況や町長のお考えをお

伺います。

また、国や県との広域連携について調査・研究の状況なども併せて伺います。

よろしく願いいたします。

○議長（三輪一雅議員） 2番議席、古村護議員の質問に対して、町長、ご答弁願います。

○町長（加藤 隆町長） 議長。

○議長（三輪一雅議員） 加藤町長。

○町長（加藤 隆町長） 改めて皆さん、おはようございます。

昨日は、伸びゆく木曾岬町のふれあい広場2025を開催させていただきましたところ、生憎のお天気で小雨が降る中、ご参加をいただいた皆さん方や運営に当たっていただいた皆さん方、また、実行委員の皆さん方、本当に小雨が降る中、熱心に一生懸命頑張ってくださいまして、ふれあい広場を盛り上げていただきました。ご参加いただき、ご協力をいただいた皆さんに改めて、感謝と御礼を申し上げる次第でございます。本当にありがとうございました。

また、昨日、長野県の木祖村の奥原村長さん、駆けつけていただきましたけれど、木祖村は朝、大変な雪だったそうでございます。ご案内のような各地で大変な雪や大荒れの中でございましたけれども、おかげさまで穏やかに滞りなく終えることができました。本当にうれしく思っておりますし、重ねて感謝申し上げます。

そういうようなことで、今年は大変厳しい寒さが続いておりましたけれど、3月に入ってから、三寒四温といいますが、暖かい日や寒い日を繰り返しながらも、一雨ごとに桜の蕾が一段と膨らんできたなど、そんな感じがしております。今年もまた桜の便りが、楽しみな時期になって参りました。

そうした中、令和7年の第1回町議会定例会を去る3月の5日に招集、開会をさせていただきます。今期定例会には、令和6年度の補正予算案、条例改選案、令和7年度の当初予算案など27件の議案の審議をいただいているところでございます。

本日は、一般質問日を迎えます。今期定例会の一般質問日は、私にとりましては、最後の答弁となりますし、また議員さん方にとりましても、今期最後の一般質問ということで、今回は全議員さんから通告をいただくのではないかとということで、緊張しながらもまた、そして質問の内容についても、今までとは違った関心を抱いておったところでございます。

今期定例会には、3名の議員の方々からご質問の通告をいただいております。今日しかつてないほどの大勢の皆さん方にお出かけをいただいて、傍聴をいただいております。これだけ議会に対して、また、一般質問や町政に対しての関心や期待が大きいということを感じさせていただいております。本当にありがとうございます。

私から、それぞれ誠心誠意、答弁させていただきますので、よろしく願いいたします。

それでは、ただいまの2番議席、古村議員の広域連携の推進についてのご質問に対し、ご答弁を申し上げます。

財政への負担緩和と事務の効率化の観点から、現在も消防、防災、ごみ・し尿処理、高齢者福祉、保険事業、税収確保など、様々な分野で広域連携を行っています。行政サービスの安定的な提供を確保するためには、このような広域連携を進めていくことが、必要不可欠であると考えております。

そのようなことから、木曾岬町第6次総合計画においても、行財政運営の取り組むべき課題として「広域行政の連携強化の推進」を明記させていただきました。これを実現するために、桑員地区や北勢5市5町といった近隣の自治体との情報交換を定期的開催し、連携のための共通認識を形成すると共に、それぞれの自治体のニーズを踏まえた共同で取り組むことが出来る事業などについても協議・検討を進めております。

さらに、議員ご指摘のとおり、広域連携を行っていく上では、三重県や国との連携も不可欠です。県の施策や国の施策を活用することで、地域課題の解決に向けた取り組みを強化し、より効果的な行政サービスを提供できるよう努めなければなりません。地域が抱える課題を早期に解決するためにも、補助金制度や支援プログラムなどは積極的に活用していく必要があります。そのために、日頃から最新の情報を入手できるよう、国や県との情報連携を遅滞なく行っております。

人口減少や高齢化が進む中、自治体間の連携強化の必要性はますます高まっています。限られた資源を有効に活用し、地域住民の福祉を向上させるためには、近隣自治体が互いに協力し、連携体制を強化していくことが全国的にも重要であると言われております。

現状の計画については、説明させていただきますけれども、今後の取り組み方については、私からの答弁は控えさせていただきますが、せっかくの機会でございますので、可能な範囲で担当課長からも説明させていただきますので、よろしくご理解のほどお願いいたします。

○総務政策課長（小島裕紹課長） 議長。

○議長（三輪一雅議員） 小島総務政策課長。

○総務政策課長（小島裕紹課長） それでは私から、広域連携の推進における今後の取り組みについて、ご説明をさせていただきます。

行政サービスの安定的な提供を迅速かつスムーズな対応を図るためには、広域連携を進めていくということは必要不可欠でございます。したがって、木曾岬町の第6次総合計画、こちらの取り組むべき課題ということにつきましても、広域行政の連携強化を推進していくということを記載させていただいております。

具体的な進め方につきましては、それぞれの業務ごとに、同じ課題を抱える他の自治体や、国・県からの情報収集を適切かつ早期に行うことが重要となって参ります。従いまして、情報交換の場となる、各種の協議会、或いは勉強会等には積極的に参加をしていかなければならないと考えているところでございます。

以上でございます。

○議長（三輪一雅議員） 古村護議員、よろしいですか。

○2番（古村 護議員） 議長。

○議長（三輪一雅議員） 2番議席、古村護議員。

○2番（古村 護議員） 詳細なご答弁ありがとうございました。

先ほど町長言われたように、今後の取り組みについての答弁は控えさせていただくことですので、この点には触れませんけれども、今回の質問の背景として、1999年から2010年にかけて実施された平成の大合併では、市町村数が3,232から合併新法の期限となる2010年の3月31日には1,727に、現在ではそんな1,718の市町村となってきたこと、また、この間の2002年11月には、地方制度調査会での基礎的自治体1万人構成を打ち出されたこと。木曾岬町は2002年10月に合併協議会から離脱、2003年12月にはいなべ市の誕生、2004年12月には新たな桑名市の誕生、そして2011年頃方から、人口減少社会になってきており、人口減少が深刻化し、高齢者の人口がピークを迎える2040年頃から逆算して、顕在化する諸課題に対する観点から、2016年にはこれらを経て、地方制度調査会の地方行政体制、広域連携等による行政サービスの提供に関する考えが示され、それが質問の要旨の冒頭部分になりますけれども、地方行政体制のあり方に関する基本的な考え方において、市町村合併から広域連携へ舵が切られたわけでございます。

加藤町長におかれましては、1993年から2005年の3期にわたる町議時代、2009年から2025年までの4期にわたる町長時代のそれぞれ多くの場面に関わり携わってこられたことから、こうした近隣市町の変革や行政運営のうねというものは、そういうものの中で、本答弁とも重なる部分もあるかと思えますけれども、今後の町運営に関して、なかなか難しいとは思いますが、広域連携の重要性など、これまで感じてこられた部分などがありましたら、お聞かせを願いますでしょうか。よろしく申し上げます。

○町長（加藤 隆町長） 議長。

○議長（三輪一雅議員） 加藤町長。

○町長（加藤 隆町長） それぞれか過去に遡って、各自治体間の動向、特に市町村合併問題の経緯も踏まえながらのご質問でございました。

今までのことについてはあれですし、特に今後のことについても、できれば、私からは控えさせていただきたいとそうように思っております。

質問の仕方といいますか、争点を変える、例えば、今総合計画のことをおっしゃられましたけど私が公約に掲げたこと、これの達成度で、自己評価をどう考えてみえるかとか。12月の定例会で後藤議員が、私の出馬について考えているかという質問もございましたけど、あれだけだったら、多分、1分か2分で答弁が終わっていると思います。

しかし、後藤議員からは、加藤町長の4期16年について、自己評価をどのように考え

ているのかという、そういった趣旨の質問だったと思います。ですから、それに答えることが十分できたのですが、ああいった形の質問の仕方をしていただけると皆さんの期待にもっとこたえられて、議論を深めさせていただけるのかなとそんなふうに思わせていただいておりますので、そのあたりは一考していただけるとありがたいなと思っております。

以上でございます。

○議長（三輪一雅議員） 古村護議員、よろしいですか。

○2番（古村 護議員） 議長。

○議長（三輪一雅議員） 2番議席、古村護議員。

○2番（古村 護議員） おっしゃる通りだと思います。私が考えたのは、町長として携わった時期、それから、議員として携わった時期それぞれにおいて、肌感覚で感じられた部分があれば今回お知らせいただければありがたいということでお聞きをさせていただきました。

少し論点がずれた部分もあるかと思えますけども、少しそのところ、お話をいただけますでしょうか。

○町長（加藤 隆町長） 議長。

○議長（三輪一雅議員） 加藤町長。

○町長（加藤 隆町長） ありがとうございます。議員当時のことも踏まえてということですが、12月の後藤議員の4期16年を振り返って自己評価をという中で述べさせていただいたと思うのですが、議員時代は、古村議員も執行部でお見えになったので、ご存知だと思いますけれども、特に市町村合併の問題、それからあの時代は水谷町長の時代でした。特に県境町境問題、それから干拓の問題、合併問題、それからもう一つ大きな問題、下水道の問題もありました。これも、木曾岬町ではかつてない、町民の皆さん、住民運動が高まって、非常に騒然とした時もございました。

そんな時代に私も議会で出させていただきましたので、木曾岬の歩みの中で、歴史的に記述されるような、そういった出来事がいくつかございましたので、非常に議員としての責任の重さというのを感じた3期ではなかったかと思わせていただいております。また、町政を担わせていただく立場になってからは、やはりその責任の重さを非常に感じておりましたし、あの時でも、12月の後藤議員の答弁で申し上げさせていただきましたけども、私が、この町政に挑戦をさせていただく決意に至ったことも、あの時に答弁の中で説明させていただきましたし、そしてまた、こうやって、4期務めさせていただく中で、何よりも、私が願っておったのは、木曾岬町内が、お互いが触れ合い、きずなを高める、例えば昨日のふれあい広場でもそうですけれど、一つのまちの中に、皆さんが集まって、頑張っておいで盛り上げていただいて、楽しい一日を過ごしていただける、明るく元気な、そんなまちをというのは私の願いでございましたので、そういった意味では、この4期の中でも、前半は非常に厳しい風や波も高い時代もございましたけれども、おかげさまで、3

期4期になってからは、皆さんに温かくご理解をいただけるようになってきたと、これが私としては嬉しかったです。

また、そういう木曾岬にしていきたいと、そんな一念で取り組んで参りますいろいろなハードウェアソフトの事業に取り組んで参りましたけれど、これは私一人でできることでありませんし、議員の皆さんや町民の皆さんやそしてまた職員が一生懸命やってくれたからこそ、結果が出てきたこととございますので、そういったことで振り返れば本当に私は、そうやって大勢の皆さんからお支えをいただいて、ご理解をいただき、そして何より職員が一生懸命やってくれた、本当に感謝の気持ちでございます。私の思いとしては、そんな思いを持っております。これが古村議員の答えになるかどうかとしてはともかくとして、私自身はそんな受けとめ方をしております。ありがとうございました。

○議長（三輪一雅議員） 古村護議員、よろしいですか。

○2番（古村 護議員） 議長。

○議長（三輪一雅議員） 2番議席、古村護議員。

○2番（古村 護議員） ありがとうございました。答弁には難しいような質問でしたので、その点は少し謝っておきたいと思っております。

加藤町長におかれましては、4期16年にわたる木曾岬町の行施運営お疲れ様でした。ありがとうございました。これで、私の一般質問を終わります。

○議長（三輪一雅議員） 続きまして、6番議席、伊藤守議員の質問を許します。

それでは、登壇の上、お願いいたします。

○6番（伊藤 守議員） 議長、6番。

○議長（三輪一雅議員） 6番議席、伊藤守議員。

○6番（伊藤 守議員） よろしくお願いいたします。防犯対策に対する補助金について。

木曾岬町内においても年末年始に空き巣等の事案が12月に7件、1月には10件も報告されており、住民も非常に不安を感じていると聞いています。

このような状況の中で、町の安全を守るために、住民一人ひとりが防犯意識を高めることも重要ですが、各家庭での防犯対策の強化も急務であると考えており、具体的には、防犯カメラやセンサーライト、防犯アラームなどの防犯対策用品の設置が効果的であると考えています。これらの防犯対策用品の設置には一定の費用がかかるため、すべての家庭が容易に設置できるわけではありません。

そこで町の安全を確保するために、各家庭で設置する防犯対策用品の費用に対する補助金制度の創設について、町長のお考えをお聞かせください。

よろしく申し上げます。

○議長（三輪一雅議員） 6番議席、伊藤守議員の質問に対して、町長、ご答弁願います。

○町長（加藤 隆町長） 議長。

○議長（三輪一雅議員） 加藤町長。

○町長（加藤 隆町長） それでは、ただいまの伊藤守議員の防犯対策に対する補助金についてのご質問に対し、ご答弁を申し上げます。

当町ではこれまでも、防犯対策として、地域BWAを活用した子ども・高齢者みまもりサービスや町内と町外を結ぶ主要連絡道路等への防犯カメラの設置、木曾岬メガソーラーの地域貢献事業による防犯灯の増設、広報きそさきへの防犯に関する記事の掲載などに取り組むとともに、その他にも自主防犯団体において青パトによるパトロールを随時実施していただくなど、町民の皆さんとも連携を取りながら、安全・安心なまちづくりを推進しているところです。

議員ご指摘のとおり、木曾岬町内では、昨年末から空き家や留守宅を標的とした盗難事件が多発しており、現在、警察において懸命な捜査が進められています。

当町におきましても、警察からの要請に基づき、防犯カメラ映像の提供を行い、捜査に協力するとともに、警察や桑名地域生活安全協会と情報を共有しながら、12月と1月に、それぞれ広報無線や配信メールサービスで、空き巣事案が多発していることについて町民の皆さんに周知を行い、防犯対策の徹底などの注意喚起に取り組んでおります。

また、町内の自主防犯団体とも情報共有を行い、青パトによるパトロールの強化をお願いするなど、警察や防犯委員会、自主防犯団体等の関係機関と連携した防犯対策に取り組み、地域全体の防犯意識の向上と安全・安心な生活環境の確保に取り組んでいるところです。

一方で、議員ご指摘のとおり、まずは自分でできる防犯対策として、個人が自らの安全を守るために防犯対策用品を備えていただくことも非常に重要であり、私も伊藤議員と同じ認識を持っております。

伊藤守議員は、防犯活動に非常に熱心に取り組んでいただいております。当町が取り組んでいる防犯対策については、よくご理解、ご存知のことかと思っております。

私は例えば、今回の質問でも、先ほど古村議員のときにも申し上げましたけれど、質問の趣旨を変えて、例えば、同じ防犯対策を取りあげていただくとしても、加藤町政の防犯対策の自己評価はどう考えているのか。その中に補助制度のことも多分ご指摘はあろうかと思っております。そういった視点から、通告をいただくと、より伊藤議員の質問に対しても、議論を深め、そしてまた、町民の皆様にも、非常に理解をしていただけるのではないかとそのように感じているところでございます。

そういった意味で、昨年の12月の後藤議員のことを先ほど言いました。出馬について考えてみえますかということになると、1分か2分で済んでしまいます。しかし、もう一方で、4期16年間の自己評価はどうかと質問していただきました。あの質問があったから、私の今までの思いが皆さんにお伝えをして、ご理解いただけたのではないかなということ、一般質問が深まったのではないかなと思っております。

ですから今回も、冒頭に私が申し上げましたけれど、そういったようなとらえ方、同じ防犯対策、或いは補助金制度を取り上げるよりも、そういった視点から、取り上げていただけると、私も、伊藤守議員、非常に防犯対策には熱心に活動してみえますので、より議

論が深めることができたのではないかと、そのように思わせていただいております。

僭越ではございますけれど、先般の12月の議会で、出馬は考えていないと答弁させていただいておりますので、特に補助金制度のことについて、具体的にしかも新規となりますと、説明させていただいてその分、答弁をさせていただきます。

そのあたりをご理解いただきたいと思います。

以上のことを申し上げて、ご理解をいただきたいと思っておりますし、せっかくのご質問でございますので、できる限りの説明を担当課長からさせていただいて、さらに再質問をいただければと思っております。

以上でございます。ご理解のほど、よろしく願いをいたします。

○危機管理課長（坂倉丈夫課長） 議長。

○議長（三輪一雅議員） 坂倉危機管理課長。

○危機管理課長（坂倉丈夫課長） それでは、私から、各家庭で購入する防犯対策用品に対する補助制度の創設についてご答弁させていただきます。

個人が自らの安全を守るために、防犯対策用品を備えていただくことは非常に重要であるものの、何を備えるかは、各家庭の状況やニーズによって異なることから、どういったニーズがあるのか把握し、ニーズを踏まえた補助対象を選定するなどの課題があると考えており、当町の状況に応じた補助制度について検討を進めて参りたいと考えております。

加えて、犯罪の手口や防犯に関する知識を共有し、町民の皆さんの防犯スキルを向上させることは非常に重要であることから、イベントでの防犯対策用品の展示や町ホームページ、広報誌など、様々な媒体を活用し、防犯に関する情報発信を行い、各家庭における防犯対策の充実強化を推進していくとともに、今後も引き続き、警察など関係機関と連携し、地域全体の防犯意識の向上と、安全安心な生活環境の確保に取り組んで参りたいと考えております。

以上のことを申し上げ、ご質問に対する答弁とさせていただきます。

○議長（三輪一雅議員） 伊藤守議員、よろしいですか。

○6番（伊藤 守議員） 議長。

○議長（三輪一雅議員） 6番議席、伊藤守議員。

○6番（伊藤 守議員） 以前も質問したことがありますけれども、防犯カメラというのは、泥棒が来て、それで、顔が映りますが、犯罪があつてからでは遅いので、木曾岬町は防犯カメラ設置推進地域であるという看板を付けて、他の地区もそういうところはあるのですけれども、そういうのを見れば、回避するのではないかということを以前、質問したことあるのですけれども、その件をどう思われますか。よろしく申し上げます。

○町長（加藤 隆町長） 議長。

○議長（三輪一雅議員） 加藤町長。

○町長（加藤 隆町長） 伊藤守議員の防犯カメラの設置と、それを知らしめることのご

指摘でございますが、以前にも同じようなご質問いただいたということでございます。事前に、ヒアリングの中でその話は出たのでしょうか。担当課長から答弁させていただきます。

○危機管理課長（坂倉丈夫課長） 議長。

○議長（三輪一雅議員） 坂倉危機管理課長。

○危機管理課長（坂倉丈夫課長） 防犯カメラの設置の周知に関しましては、地域BWAの事業の中で、電柱に看板を掲示するなど、周知はさせていただいているところでございます。

また、地域BWAの広報などを通じて、防犯カメラの設置に関しては周知をしていきたいと考えております。

○議長（三輪一雅議員） 伊藤守議員、よろしいですか。

○6番（伊藤 守議員） 議長。

○議長（三輪一雅議員） 6番議席、伊藤守議員。

○6番（伊藤 守議員） 私は青パトをしまして、1月、12月で35回ほど、木曾岬町を回らせてもらいました。

それで、そういう看板はあまり目につかないです。それで、私は、大きな看板で目につく、泥棒でも誰でも、防犯対策を強化している町だというようにしてもらえば、それで事件が一つでも少なくなればいいのではないかと考えていますので、その辺のことをお聞きします。

○議長（三輪一雅議員） 伊藤守議員に申し上げますが、今回の一般質問は、防犯対策に対する補助金についてでございます。防犯についてはございませんので、質問の方法を変えて質問してください。

○6番（伊藤 守議員） 議長。

○議長（三輪一雅議員） 6番議席、伊藤守議員。

○6番（伊藤 守議員） 防犯対策に対する補助金ということで、看板を例えば個人の家につけるとか、そういう部分に対して補助金はできるでしょうか。

例えば、私の家だったら、その看板をつけてあげてもいいと、それに対して町が看板を作って、設置するのは個人の家だと、それに対する補助金のことです。

○危機管理課長（坂倉丈夫課長） 議長。

○議長（三輪一雅議員） 坂倉危機管理課長。

○危機管理課長（坂倉丈夫課長） 答弁でも発言させていただきましたが、補助金に関しましては、どういったニーズがあるのかということも把握をさせていただいて、補助対象などは選定をさせていただきたい、検討していきたいと考えております。

議員ご指摘のように看板に関しましても、それも含めて、検討していきたいと考えております。以上です。

○議長（三輪一雅議員） 伊藤守議員、よろしいですか。

○6番（伊藤 守議員） 議長。

○議長（三輪一雅議員） 6番議席、伊藤守議員。

○6番（伊藤 守議員） 必要性があるか、例えば、やりたいという方がいらっしゃるのを、上手に募集というか、集めてくださいますようお願いいたします。

隣の弥富市では、同じ時期に、1月、2月に事件があったと思いますけれど、何件ぐらいあったかわかりますか。

○危機管理課長（坂倉丈夫課長） 議長。

○議長（三輪一雅議員） 坂倉危機管理課長。

○危機管理課長（坂倉丈夫課長） 弥富市での犯罪の発生状況に関しましては、申し訳ございませんが、把握はしておりません。

○議長（三輪一雅議員） 伊藤守議員、よろしいですか。

○6番（伊藤 守議員） 議長。

○議長（三輪一雅議員） 6番議席、伊藤守議員。

○6番（伊藤 守議員） もう少し大きい声でお願いします。

○危機管理課長（坂倉丈夫課長） 議長。

○議長（三輪一雅議員） 坂倉危機管理課長。

○危機管理課長（坂倉丈夫課長） 弥富市での犯罪の発生状況に関しましては、申し訳ございませんが、把握はしておりません。

○議長（三輪一雅議員） 伊藤守議員、よろしいですか。

○6番（伊藤 守議員） 議長。

○議長（三輪一雅議員） 6番議席、伊藤守議員。

○6番（伊藤 守議員） 私は、危機管理課から聞いたのですけれども、課長は知らないことですか。

○危機管理課長（坂倉丈夫課長） 議長。

○議長（三輪一雅議員） 坂倉危機管理課長。

○危機管理課長（坂倉丈夫課長） 弥富市の犯罪状況に関しましては、把握はさせてもらっておりません。

以上です。

○議長（三輪一雅議員） 伊藤守議員、よろしいですか。

再度、お話しいたしますけれど、話がずれておりますので、きちんと補助金に対して、お話をしてください。

○6番（伊藤 守議員） 議長。

○議長（三輪一雅議員） 6番議席、伊藤守議員。

○6番（伊藤 守議員） 補助金になってくると、どうしても狭まって、こういう話にな

ってしまいました。大変すみませんでした。

木曾岬町は、小さな町ですので、外国人の方も非常に多いですので、別に外国人が悪いというわけではないのですが、防犯の意識を高めていただいて、是非そういう各家庭でカメラを付けるということであれば、少しでも事件が少なくなるかと思っています。一人でも何か犠牲があれば、大変なことになりますので、やれることはやろうという考えでありますので、よろしくお願いいいたします。

これで私の質問は終わります。ありがとうございました。

○町長（加藤 隆町長） 議長。

○議長（三輪一雅議員） 加藤町長。

○町長（加藤 隆町長） 伊藤守議員、熱心に防犯活動をやっているだけに、補助金制度に対する思いも強いかと思います。私は、今後のことについての考え方は、控えさせていただきますけれども、ぜひそれを、今回の次なる、補助金制度の中の一つとして、大きくまちづくりの争点にさせていただいて、議論を活発にさせていただく。その機会が近づいておりますので、私がもし、次期、出馬を予定しておるなら、公約の一つに掲げるのは、一つの案かと思えます。

以上でございます。

○議長（三輪一雅議員） 続きまして、5番議席、加藤真人議員の質問を許します。

それでは、登壇の上、お願いいいたします。

○5番（加藤真人議員） 議長、5番。

○議長（三輪一雅議員） 5番議席、加藤真人議員。

○5番（加藤真人議員） それでは、質問の機会をいただきましたので、質問をさせていただきます。

本日は傍聴の方もたくさんみえまして、非常にプレッシャーがかかっている中での質問になりますけれども、よろしくお願いいいたします。それでは、道路修繕計画について、ご質問をさせていただきます。

中央幹線排水路の三栄橋より豊崎・三栄橋線に向けた南北の道路について、通行の形態が変わったこともあり、多くの車両が通行するため、舗装が以前に比べ非常に悪くなったと聞いています。また、小和泉線の雁ヶ地・小和泉線、木曾岬神社へ向かう道路についても、舗装状態が悪く雨が降ると道路の中央部が水たまりとなり、歩行者や自転車で通行される方々から早急な整備を望む声を聞いています。

このような道路状況は町内の他にも多数あると思われませんが、こうした道路について修繕計画はありますでしょうか。

○議長（三輪一雅議員） 5番議席、加藤真人議員の質問に対して、町長、ご答弁願います。

○町長（加藤 隆町長） 議長。

○議長（三輪一雅議員） 加藤町長。

○町長（加藤 隆町長） それでは、ただいまの5番議席、加藤真人議員の道路修繕計画についてのご質問に対し、ご答弁を申し上げます。

町道の舗装修繕については、令和4年度に策定した舗装修繕計画に基づき、計画的かつ効率的に進めるとともに、ひび割れや、段差等の局所的な補修に関しては、年間単価契約によりその都度修繕を行い、良好な道路環境の維持に努めております。

質問にあります、中央幹線排水路の三栄橋より豊崎地区に向けた南北の道路である豊崎・三栄橋線、小和泉より木曾岬神社へ向かう道路である雁ヶ地・小和泉線につきましても、修繕計画の対象路線として位置づけ、現地の状況などを確認し、計画的、弾力的に舗装修繕を行うこととしております。

町民が安全で、便利に移動することができるよう、また、総合計画における町道舗装修繕計画達成率の目標値である86%に向け、より良い町道環境の維持に努めているところでございます。

今後の対策や、個別具体的なことにつきましては、私からは控えさせていただき、可能な範囲で担当課長から説明させていただきます。

よろしく願いいたします。

○建設課長（伊藤雅人課長） 議長。

○議長（三輪一雅議員） 伊藤建設課長。

○建設課長（伊藤雅人課長） 私から、質問がありました2路線についてご答弁を申し上げます。

町長の答弁にありましたとおり、まず、豊崎・三栄橋線、また、雁ヶ地・小和泉線の両路線ともに、修繕計画の対象路線としております。

豊崎・三栄橋線は令和8年度に、雁ヶ地・小和泉線は令和13年度に修繕を行う計画としておるところでございます。

以上でございます。

○議長（三輪一雅議員） 加藤真人議員、よろしいですか。

○5番（加藤真人議員） 議長。

○議長（三輪一雅議員） 5番議席、加藤真人議員。

○5番（加藤真人議員） 今、豊崎・三栄橋線は令和8年度ということ、雁ヶ地・小和泉線は令和13年度にということでございますけれども、特に、雁ヶ地・小和泉線においては、通学路でもあり、また、団地内を通過する主要道路でもあるということから、雨が降るたびに大きな水たまりができて、中学生の学生さんたちが自転車で通学する際、非常に不便だと思っております。そういう点からも、もう少し、この部分に対して、早くできないものかと思いますが、その辺の予定変更というか、そういうことは考えておられますかどうか、お伺いしたいと思っております。

○建設課長（伊藤雅人課長） 議長。

○議長（三輪一雅議員） 伊藤建設課長。

○建設課長（伊藤雅人課長） 現在まで今のところ、雁ヶ地・小和泉線の修繕の要望は、建設課では承っておりません。

ただ、しかしながら、道路環境とか状況を確認させていただいて、現状の舗装状態が特に劣化している状態であれば、応急的な修繕等を検討して参りたいと考えております。

以上でございます。

○議長（三輪一雅議員） 加藤真人議員、よろしいですか。

○5番（加藤真人議員） 議長。

○議長（三輪一雅議員） 5番議席、加藤真人議員。

○5番（加藤真人議員） 特に、学生さんの自転車が多く通るところでもありますから、できれば前倒しができるような形で、早いところ整備をしてやってあげたいと思います。その辺のところ、何かご尽力くださいませ、何とか頑張っって早めできるように、努力をしていただきたいと思います。

また、豊崎・三栄橋線については、令和8年ということでございますけども、町内いろいろな道路の修繕がある中での、早急にやっていただけることに対しては大変感謝しております。特に、23号の交差点ができたことによって、道路状況というか、通行量がすごく変わりましたということもありますので、県道の中和泉線までに向ける道路が繋がるまでの間は、すごく道路状況が悪い状態になっております。その辺も考えていただいて、交通安全の面からも、普段から注意をしていただきたいと思いますので、よろしく願いいたします。

続きまして、観光施設の整備について、ご質問させていただきます。

木曾岬町における観光施設として、鍋田川の桜並木や中央幹線排水路のアジサイなどがあり、桜並木にあつては情報誌にも取り上げられ桜の開花時期には町内外から多くの人が見学に訪れています。

そうした中、桜並木における駐車場、散策中におけるベンチなどの休憩する場所が少ないと聞いています。

このような問題に対し、町としてどのように対応されると考えておられますか。

○議長（三輪一雅議員） 5番議席、加藤真人議員の質問に対して、町長、ご答弁願います。

○町長（加藤 隆町長） 議長。

○議長（三輪一雅議員） 加藤町長。

○町長（加藤 隆町長） それでは、ただいまの5番議席、加藤真人議員の2点目の、観光施設の整備についてのご質問に対し、ご答弁を申し上げます。

鍋田川堤防の桜並木は、春の訪れを象徴する風景として多くの方々に親しまれており、シー

ズン中には町内外から多くの観光客が訪れることは、すでにご承知のことと存じます。

ご指摘いただいております、現在の駐車場やベンチの整備状況について少しご説明いたしますと、鍋田川堤防沿線には、いこいパーク、和泉農村公園、見入地内にそれぞれベンチを設置し、また駐車場については、いこいパーク内に数台分を整備しておりますが、桜の開花期間中には沿線企業のご厚意により、約50台程度が駐車できるスペースをご提供いただいております。また、桜まつり当日には鍋田川グラウンドの開放に加え、別途沿線企業さんの協力をいただくことで、約250台分を確保するなど、来場者のニーズに応えるために柔軟な対応を進めている所でございます。

今後の対応につきましては、私からは答弁を控えさせていただき、担当課長から可能な範囲でお答えさせていただきます。

よろしく願いいたします。

○産業課長（中山重徳課長） 議長。

○議長（三輪一雅議員） 中山産業課長。

○産業課長（中山重徳課長） 先ほど町長が答弁いたしましたとおり、駐車場に関しては、桜の開花期間中、また、さくらまつり当日は沿線企業のご好意により、駐車場をご提供いただいていることから、来場される方々のニーズにはお答えできている状況にあると認識しております。

現段階では、こうした対応にとどまっておりますが、今後も地域の沿線企業の皆様と連携し、協力体制を維持、強化しながら、訪れる皆様が快適に桜を楽しめる環境づくりに努めていきたいと考えております。

以上のことを申し上げ、加藤議員のご質問に対する答弁とさせていただきます。

○議長（三輪一雅議員） 加藤眞人議員、よろしいですか。

○5番（加藤眞人議員） 議長。

○議長（三輪一雅議員） 5番議席、加藤眞人議員。

○5番（加藤眞人議員） 駐車場に対して中間点くらいになるかと思うのですが、駐車場の確保は十分されているとは思いますが、北と南の両方から入られる中で、特に南の方に対しまして、休憩する場所もない。北には、見入に一か所だけベンチの休憩する場所があります。

桜を見に来る方々は、小さなお子さんからご老人の方まで、たくさんの方がみえるわけでございます。

そんな中で、中央のところまで行くまでは、かなり距離があるということもあって、休憩するベンチなどを置いて、休憩するような場所がないかなということをよく聞かれ、道路上によく座ってみえる方がいます。

そういうことを考えた時に、今、富田子の石田鉄工さんの近所の堤防沿いに空き地があると思います。そこはいつも草の管理をしているだけで、放置してあるのが現状です。そ

こを使用できないのか。また、駐車スペースとして、また、休憩所として使用できないか、そのような考えが、あるのかないのかということをお聞きします。

○産業課長（中山重徳課長） 議長。

○議長（三輪一雅議員） 中山産業課長。

○産業課長（中山重徳課長） ベンチの増設等のご質問だと思いますが、シーズン中には、沿線沿いに簡易ベンチなどの設置は検討できるかと思いますが、設置場所等も含めて今後検討して参りたいと考えております。

以上です。

○議長（三輪一雅議員） 加藤真人議員、よろしいですか。

○5番（加藤真人議員） 議長。

○議長（三輪一雅議員） 5番議席、加藤真人議員。

○5番（加藤真人議員） もうすぐ桜まつりのシーズンでもありますし、仮設であってもいいですから、何とかそういう場所があったら、仮設のベンチでも設置していただけると、ご老人の方、また小さなお子さんを連れて見学される方に対して、非常にありがたいことだと思いますので、早急に考えていただき、設置できる方向で検討していただきたいと思います。

また、木曾岬町において、観光施設というと、中央幹線上にアジサイの植え込みがあります。アジサイの植え込みはしてありますけれども、なかなか町民に周知されていないのが現状ではないかと思っております。その辺の住民に対する情報発信、そういうこともしっかりやっていただいて、少しでも多くの方が見られるというような体制整備を、今後どのように考えておられるのか、お聞きします。

○産業課長（中山重徳課長） 議長。

○議長（三輪一雅議員） 中山産業課長。

○産業課長（中山重徳課長） 桜に限らず、観光施設のPRにつきましては、町の公式ホームページやSNSなどで、開花状況を随時配信しております。

また、天候などによって、みどころの時期も変動するため、リアルタイムの情報提供に努めていきたいと考えております。

以上です。

○議長（三輪一雅議員） 加藤真人議員、よろしいですか。

○5番（加藤真人議員） 議長。

○議長（三輪一雅議員） 5番議席、加藤真人議員。

○5番（加藤真人議員） せっかくある施設でありますし、管理もされておりますので、情報発信をしっかりやって、一人でも多くの方が、そういう場所で楽しんでいただけるような方法をとっていただきたいと思います。

話は戻りますけれど、桜並木に対しまして、木曾岬町として、1960年前後くらいか

ら桜が植えられていると思いますけれど、かなり老木になってきているということもあり、近隣の四日市市でもそうですけれど、老木の倒壊が心配され、今年、四日市では桜の祭りも中止になったということを知っています。そんな状態が、木曾岬でも同じような時期で植栽されていると思いますので、木曾岬もそういうことが起きてくると思います。新たに植えるということも河川法の問題で、いろいろ難しい問題があるという話を聞いておられます。

そんな中で、せっかくここまで桜が木曾岬の名所として多くの方が来られるわけですから、次の世代、またその次の次の世代まで残せるように、その辺はどのように、県との話し合いもあるかと思えますけれど、先の話はどのように考えておられますか。

○町長（加藤 隆町長） 議長。

○議長（三輪一雅議員） 加藤町長。

○町長（加藤 隆町長） 加藤眞人議員から、桜並木のこと、それから、水環境で整備をして参りました中央幹線沿いの景観づくりですか、親水景観作りだと思いますが、そのことについてのご質問でございます。今後の対応についてはまた担当課長から説明させていただきますけれども、桜並木についてはご存じのように、伊勢湾台風からの復旧復興を願って、当時の田中三重県知事からプレゼントをいただいた桜でございまして、実は、当時、白木村長から、私どもは青年団活動しているころでした。「加藤団長、桜をせっかくもらって植えたのだけれど、竹やぶや草の中に埋まってしまっている。何とか社会奉仕してくれないかということで、私も当時青年団で、1週間ほどかけて北から南まで、下草刈りや竹やぶを切った記憶がございます。それだけに私は、鍋田川堤防の桜並木は人一倍思い入れがございます。

しかし、残念ながら、他の桜の名所はどこも堤防にあるわけですが、一つは人家が両側にあるようなところ、或いは車があれば頻繁に交通量があるような、そういった桜並木はないと思うのです。ですから、桜にとっては良い環境ではないのです。ところが、堤防自体は非常に良い環境です。ですから、他の桜の名所に比べたら、圧倒的に木曾岬の桜は立派に育って幹も太いですし、しっかりしています。

しかし残念ながら、先ほど加藤議員おっしゃったように、年数が経ってきておりますので、だんだんと弱くなってきております。それだけで、私は桜切る馬鹿と言われるかもしれませんが、一番大好きな桜に思い入れを持った町長が自ら桜を伐採したり枝を切るということは非常に辛いのですが、万が一事故があったり、沿線の民家の人たちに迷惑をかけてはいけませんので、早め早めに、伐採手入れをしておりますが、何とか1年でも長く楽しんでいただけるように今後も、また議員さんたちとも連携を保って、守っていく必要がございます。

水環境で整備して参りました中央幹線水路の、アジサイの話もございました。私も就任当初にちょうどあの計画は、水環で進める計画でしたけれど、お話がございました。当

時、それぞれ、水質環境、水質を浄化していくための部会と、それから景観作り、公園整備をする部会と両方あって、しかも県は、町民の皆さんにその整備計画に参画していただきたいと、当時、議員たちもそれぞれの部会に入っていたいて、いろんな議論をしていただきました。

だから私はあの事業に非常に思い入れが強く、桜並木に代わる町の中心部を北から南北にあるわけですから、非常にこれは将来に向けて期待できる事業だと思って、力を入れてきましたけども、残念ながら、アジサイはまだですが、植栽なんかについても、何の問題があったかわかりませんが上手く育ちませんでした。

ですから、私は、就任当時はもうすでにそのような状況でございましたので、何とかあれをもう一度、木曾岬の中央を南北に流れている兩岸にあるわけですから、できたら、そういったことも、当時からそういった計画を持っておりますけれども、私の考えの中にもありましたけれども、今後のことについては、次なる町政を担っていただく人たちと議員の皆さんでそれぞれに議論をしていただけるとありがたいと。少し先走ったことですが、私の思いでございます。ぜひ皆さんに親しんでいただけるような空間作りに取り組んでいただけたらと思っております。

○議長（三輪一雅議員） 加藤真人議員、よろしいですか。

○5番（加藤真人議員） 議長。

○議長（三輪一雅議員） 5番議席、加藤真人議員。

○5番（加藤真人議員） せっかくあるものを、大事に育てていっていただきたいと思えます。

観光施設の充実ということで、木曾岬町は以前、伊勢湾台風前後の頃は、木曾岬町として桜は新しいと思うのです。実際には木曾岬町も昔からあるのは水仙だと思います。水仙、アジサイというのは昔、河川敷、ほとんどどこの家の水路沿いには植わっております。そういう木曾岬町の昔からある、大事な水仙、みんなが分かっているそういう花に対して、観光の一環として、こういうものを取り入れてって、木曾岬の思いでというか、そういうものに対して、取り組んでいくっていう姿勢はありますか。

○産業課長（中山重徳課長） 議長。

○議長（三輪一雅議員） 中山産業課長。

○産業課長（中山重徳課長） 水仙については、町民の方々に、非常に親しまれている花でございますので、ご意見ちょうだいいたしましたので早速検討したいと思います。

以上です。

○議長（三輪一雅議員） 加藤真人議員、よろしいですか。

○5番（加藤真人議員） 議長。

○議長（三輪一雅議員） 5番議席、加藤真人議員。

○5番（加藤真人議員） せっかく昔からある大事な木曾岬町のシンボルというか、そう

いう花でありますから、なんとか、それに対して取り組んでいただきたいと思います。

これで私の道路修繕計画、観光施設の整備についての質問を終了させていただきます。  
ありがとうございました。

○議長（三輪一雅議員） 以上をもちまして、通告をいただいております一般質問は全て終了しました。

これにて一般質問を終わります。

ここで休憩いたします。再開は10時20分からとさせていただきます。

午前10時 5分休憩

午前10時20分再開

○議長（三輪一雅議員） 休憩を解き、本会議に戻します。

日程第 2 議案第 2号 令和6年度三重県桑名郡木曾岬町一般会計補正予算（第7号）  
について

日程第 3 議案第 3号 令和6年度三重県桑名郡木曾岬町国民健康保険特別会計補正  
予算（第4号）について

日程第 4 議案第 4号 令和6年度三重県桑名郡木曾岬町後期高齢者医療特別会計補  
正予算（第1号）について

日程第 5 議案第 5号 令和6年度三重県桑名郡木曾岬町介護保険特別会計補正予算  
（第3号）について

日程第 6 議案第 6号 令和6年度三重県桑名郡木曾岬町下水道事業会計補正予算  
（第3号）について

日程第 7 議案第 7号 令和6年度三重県桑名郡木曾岬町水道事業会計補正予算（第  
2号）について

日程第 8 議案第 8号 木曾岬町職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例の  
制定について

日程第 9 議案第 9号 職員の勤務時間、休暇等に関する条例等の一部を改正する条  
例の制定について

日程第10 議案第10号 刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に  
関する条例の制定について

日程第11 議案第11号 木曾岬町国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定につ  
いて

日程第12 議案第12号 災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例の制  
定について

日程第13 議案第13号 デジタル社会形成基本法等の一部を改正する法律の施行に伴  
う関係条例の整理に関する条例の制定について

日程第14 議案第14号 木曾岬町非常勤消防団員に係る退職報償金の支給に関する条

例の一部を改正する条例の制定について

- 日程第 15 議案第 15 号 木曾岬町体育館の設置及び運営に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- 日程第 16 議案第 16 号 木曾岬町立学校施設の開放に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- 日程第 17 議案第 17 号 木曾岬町公共下水道条例の一部を改正する条例の制定について
- 日程第 18 議案第 18 号 木曾岬町農業集落排水処理施設の管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- 日程第 19 議案第 19 号 木曾岬町水道事業の水道の布設工事監督者を配置する対象工事並びに布設工事監督者及び水道技術管理者の資格基準に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- 日程第 20 議案第 20 号 令和 7 年度三重県桑名郡木曾岬町一般会計予算について
- 日程第 21 議案第 21 号 令和 7 年度三重県桑名郡木曾岬町国民健康保険特別会計予算について
- 日程第 22 議案第 22 号 令和 7 年度三重県桑名郡木曾岬町後期高齢者医療特別会計予算について
- 日程第 23 議案第 23 号 令和 7 年度三重県桑名郡木曾岬町介護保険特別会計予算について
- 日程第 24 議案第 24 号 令和 7 年度三重県桑名郡木曾岬町土地取得特別会計予算について
- 日程第 25 議案第 25 号 令和 7 年度三重県桑名郡木曾岬町下水道事業会計予算について
- 日程第 26 議案第 26 号 令和 7 年度三重県桑名郡木曾岬町水道事業会計予算について
- 日程第 27 議案第 27 号 木曾岬町消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例の制定について

○議長（三輪一雅議員） それでは、これより議事に入ります。日程第 2、議案第 2 号、令和 6 年度三重県桑名郡木曾岬町一般会計補正予算（第 7 号）についてから日程第 27、議案第 27 号、木曾岬町消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例の制定についてまでの 26 議案を一括上程し、これを議題といたします。

上程しました会議議件名を議会事務局長に朗読いたさせます。

〔職員朗読〕

○議長（三輪一雅議員） ただいま議題としました議案につきましては、それぞれの常任委員会に付託し、ご審査をお願いしまして、各常任委員会から審査報告書が提出されておるところでございます。よって、それぞれの委員長の報告を求めます。

はじめに、加藤真人委員長より教育民生常任委員会の審査報告を求めます。

登壇の上、お願いいたします。

○5番（加藤真人議員） 議長、5番。

○議長（三輪一雅議員） 5番議席、加藤真人委員長。

○5番（加藤真人議員） 教育民生常任委員会の報告をさせていただきます。

教育民生常任委員会のご報告をいたします。

去る、3月10日（月）、午前9時から、委員6名が出席し、加藤町長を始め、教育民生常任委員会所管の執行部に出席を求め、委員会を開催いたしました。

令和7年第1回定例会において、本委員会に付託されました議案は、議件名を割愛いたしますが、

議案第2号の所管部分から議案第5号までの補正予算案4件、議案第11号、議案第12号、議案第15号、議案第16号の条例の一部改正案4件、議案第20号の所管部分から議案第23号までの当初予算案4件の、合わせて議案12件であります。

付託されました12件の議案について、加藤町長から、議案の概要説明を受けた後、付託議案の審査方法をお諮りし、各議案を一件ごとに、執行部から詳細な内容の説明を求め、議案質疑を行い、全議案審査の後に、討論・採決も一件ごとに行うこととして、付託議案の審査を進めました。

その審査内容や結果について、ご報告をさせていただきます。

なお、付託議案の内容については、既にお聞きいただいておりますので、割愛させていただきます。

まず、議案第2号、令和6年度三重県桑名郡木曾岬町一般会計補正予算（第7号）についての所管部分を議題として審査を行いました。

主な質疑として、歳出の環境衛生費で「住宅用太陽光発電システム設置費補助金の申請件数と周知方法は。」との質疑に対し、「申請件数は1件で、町のホームページ及び広報紙により周知しています。」との答弁でした。

次に、学童保育費では「委託料が大きく減額となった理由と利用状況は。」との質疑に対し、「障害児加算分を見込んでいたが利用がなかったため減額となったものです。現在の利用状況は、登録者数が35名で、そのうち3名が外国籍となっております。」との答弁でした。

次に、保健体育施設費では「緑化管理委託料が大きく減額した理由は。」との質疑に対し、「入札差金によるものです。」との答弁でした。

次に、議案第3号、令和6年度三重県桑名郡木曾岬町国民健康保険特別会計補正予算（第4号）についてを議題として審査を行いました。特に質疑はありませんでした。

次に、議案第4号、令和6年度三重県桑名郡木曾岬町後期高齢者医療特別会計補正予算

(第1号) についてを議題として審査を行いました。特に質疑はありませんでした。

次に、議案第5号、令和6年度三重県桑名郡木曾岬町介護保険特別会計補正予算(第3号) についてを議題として審査を行いました。特に質疑はありませんでした。

次に、議案第11号、木曾岬町国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定についてを議題として審査を行いました。特に質疑はありませんでした。

次に、議案第12号、災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例の制定についてを議題として審査を行いました。特に質疑はありませんでした。

次に、議案第15号、木曾岬町体育館の設置及び運営に関する条例の一部を改正する条例の制定についてを議題として審査を行いました。

主な質疑として、「各利用者団体への周知は。」との質疑に対し、「各利用者団体へは周知済みです。」との答弁でした。

次に、議案第16号、木曾岬町立学校施設の開放に関する条例の一部を改正する条例の制定について」を議題として審査を行いました。特に質疑はありませんでした。

次に、議案第20号、令和7年度三重県桑名郡木曾岬町一般会計予算についての所管部分を議題として、審査を行いました。

主な質疑として、歳出の環境衛生費で「家庭用新エネルギー等普及支援事業費補助金は更新も補助対象か。」との質疑に対し、「パネルのみを補助対象としており、更新に関する問い合わせはありません。」との答弁でした。

次に、社会福祉総務費では「生活困窮者就労準備支援等事業は新規事業か。また、社協に委託するのか。」との質疑に対し、「令和6年度からの事業で社協への委託事業となります。」との答弁でした。

次に、こども園費では「業務委託料の内訳は。」との質疑に対し、「派遣の保育士の4名分、おむつ回収、保育補助などとなっています。」との答弁でした。

次に保健施設費では「備品購入費の内訳は。」との質疑に対し、「AEDの更新となっています。」との答弁でした。

次に、学校給食費では「更新する配送車の車輻の仕様は。また、給食用コンテナとは。」との質疑に対し、「二トン車で冷蔵機能がないコンテナ車を計画しています。また、給食用コンテナは配送車へ積込むための台車付コンテナです。」との答弁でした。

次に、議案第21号、令和7年度三重県桑名郡木曾岬町国民健康保険特別会計予算についてを議題として審査を行いました。特に質疑はありませんでした。

次に、議案第22号、令和7年度三重県桑名郡木曾岬町後期高齢者医療特別会計予算についてを議題として審査を行いました。特に質疑はありませんでした。

次に、議案第23号、令和7年度三重県桑名郡木曾岬町介護保険特別会計予算についてを議題として審査を行いました。特に質疑はありませんでした。

以上、個別に審査し、質疑をいただてきましたが、最後に、これまで議題としてきま

したすべての議案について、再度ご質疑をさせていただきましたが、特に質疑はありませんでした。

次に、各議案の質疑を終え、一件ごとに討論を進めましたが、特に討論はありませんでした。

以上、本委員会に付託されました、議案第2号の所管部分から議案第5号まで、議案第11号、議案第12号、議案第15号、議案第16号、議案第20号の所管部分から議案第23号、の議案12件を、慎重に審査いたしましたところ、本委員会は、全議案を妥当と認め、原案のとおり、可決するものと決定いたしました。

以上のとおり、ご報告させていただきます。

令和7年3月17日、教育民生常任委員会委員長、加藤真人。

○議長（三輪一雅議員） ありがとうございます。

教育民生常任委員会の皆さんには、当日、長時間にわたり、慎重審査ご苦労様ございました。

続いて、鎌田鷹介委員長より、総務建設常任委員会の審査報告を求めます。

登壇の上、お願いいたします。

○3番（鎌田鷹介議員） 議長、3番。

○議長（三輪一雅議員） 3番議席、鎌田鷹介委員長。

○3番（鎌田鷹介議員） 総務建設常任委員会のご報告をさせていただきます。

総務建設常任委員会のご報告をいたします。

去る、3月12日（水）、午前9時から、委員5名が出席し、加藤町長を始め、総務建設常任委員会所管の執行部に出席を求め、委員会を開催いたしました。

令和7年第1回定例会において、本委員会に付託されました議案は、議案名は割愛いたしますが、議案第2号の所管部分、議案第6号から議案第7号までの補正予算案3件、議案第8号から議案第10号、議案第13号、議案第14号、議案第17号から議案第19号、議案第27号の条例の一部改正案9件、議案第20号の所管部分、議案第24号から議案第26号までの当初予算案4件、合わせて議案16件であります。

付託されました執行部提案の16件の議案について、加藤町長から議案の概要説明を受けた後、付託議案の審査方法をお諮りし、各議案を一件ごとに、執行部から詳細な内容の説明を求め、議案質疑を行い、全議案審査の後に、討論・採決も一件ごとに行うこととして、付託議案の審査を進めました。

その審査内容や結果について、ご報告をさせていただきます。

なお、付託議案の内容については、既にお聞きいただいておりますので、割愛させていただきます。

まず、議案第2号、令和6年度三重県桑名郡木曾岬町一般会計補正予算（第7号）についての所管部分を議題として審査を行いました。

主な質疑として、歳出の一般管理費で、ふるさとそさき応援事業費では「ふるさと納税寄附金における事務費の割合は。」の質疑に対して、「事務費の割合は50パーセントが示されており、寄付額を1億円と見込んだ補正となっています。」との答弁でした。

次に、高度情報処理対策費では「住民情報の標準化対応に関する予算が大きく減額となった理由は。」の質疑に対して、「ガバメントクラウドをクラウドベンダーに見直したことによる関連経費の減額と国のシステム開発遅延に伴い事業実施期間が1年延長されたことによる関連経費の減額によるものです。」との答弁でした。

次に、議案第6号、令和6年度三重県桑名郡木曾岬町下水道事業会計補正予算(第3号)についてを議題として審査を行いました。質疑はありませんでした。

次に、議案第7号、令和6年度三重県桑名郡木曾岬町水道事業会計補正予算(第2号)についてを議題として審査を行いました。質疑はありませんでした。

次に、議案第8号、木曾岬町職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例の制定についてを議題として審査を行いました。

主な質疑では、「人事院勧告に基づく改正となっているのか。」との質疑に対して、「人事院勧告に基づく改正です。」との答弁でした。

次に、議案第9号、職員の勤務時間、休暇等に関する条例等の一部を改正する条例の制定についてを議題として審査を行いました。質疑はありませんでした。

次に、議案第10号、刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定についてを議題として審査を行いました。質疑はありませんでした。

次に、議案第13号、デジタル社会形成基本法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定についてを議題として審査を行いました。質疑はありませんでした。

次に、議案第14号、木曾岬町非常勤消防団員に係る退職報償金の支給に関する条例の一部を改正する条例の制定についてを議題として審査を行いました。質疑はありませんでした。

次に、議案第17号、木曾岬町公共下水道条例の一部を改正する条例の制定についてを議題として審査を行いました。

主な質疑では、「使用料改定の住民への周知方法は。」との質疑に対して、「広報紙や折り込み、ホームページのほか、水道の検針票に合わせたチラシのポスティングで4月から数ヶ月に渡り継続的に周知をしていきたいと考えています。」との答弁でした。

次に、議案第18号、木曾岬町農業集落排水処理施設の管理に関する条例の一部を改正する条例の制定についてを議題として審査を行いました。質疑はありませんでした。

次に、議案第19号、木曾岬町水道事業の水道の布設工事監督者を配置する対象工事並びに布設工事監督者及び水道技術管理者の資格基準に関する条例の一部を改正する条例の制定についてを議題として審査を行いました。

主な質疑では、「現在の布設工事監督者の運用は。」との質疑に対して、「通常の水道管布設替工事は、本条例の布設工事監督者に該当しませんが、該当する工事が計画する場合には本条例に該当する経験年数の職員配属を人事担当課と協議する必要があると考えています。」との答弁でした。

次に、議案第20号、令和7年度三重県桑名郡木曾岬町一般会計予算についての所管部分を議題として審査を行いました。

主な質疑として、歳出の湛水防除費で「県営湛水防除事業近江島地区の事業費が令和6年度予算から大きく減額となっているが工事に遅れは生じないのか。」との質疑に対し、「令和6年度の補正と、令和7年度当初を合わせた事業費では約2億円となり、概ね例年通りの予算規模となっています。」との答弁でした。

次に住宅管理費では「木造住宅耐震シェルター設置工事補助金について県内での設置実績は。」との質疑に対し、「正確な件数は把握していませんが10件に満たない件数と聞いています。」との答弁でした。

次に、高度情報処理対策費では「住民情報の標準化対応に伴う関連経費の国からの補助金は。」との質疑に対し、「国の補助金は、上限1億2,378万8,000円が当町に示されており、上限額を超えた関連経費に関しては、地方交付税により措置されることが示されています。」との答弁でした。

次に、災害対策費では「防災訓練に関する経費は計上されないのか。」との質疑に対し、「骨格予算のため当初予算で計上していませんが、訓練内容も含めて検討し補正予算で計上したいと考えています。」との答弁でした。

次に、議案第24号、令和7年度三重県桑名郡木曾岬町土地取得特別会計予算についてを議題として審査を行いました。質疑はありませんでした。

次に、議案第25号、令和7年度三重県桑名郡木曾岬町下水道事業会計予算についてを議題として審査を行いました。質疑はありませんでした。

次に、議案第26号、令和7年度三重県桑名郡木曾岬町水道事業会計予算についてを議題として審査を行いました。

主な質疑として、歳出の消費税で「消費税の予算が少ない理由は。」との質疑に対し、「令和7年度の予算規模で消費税額を仮計算した結果となっています。」との答弁でした。

次に、議案第27号、木曾岬町消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例の制定についてを議題として審査を行いました。質疑はありませんでした。

以上、個別に審査し、質疑をいただけてきましたが、最後に、これまで議題としてきましたすべての議案について、再度ご質疑をさせていただきましたが、質疑はありませんでした。

各議案の質疑を終え、一件ごとに討論・採決を実施致しましたが、それぞれの議案における討論はありませんでした。

以上、本委員会に付託されました。

議案第2号の所管部分、議案第6号から議案第10号、議案第13号、議案第14号、議案第17号から議案第19号、議案第20号の所管部分、議案第24号から議案第27号の議案16件は、慎重に審査いたしましたところ、本委員会は、全議案を妥当と認め、原案のとおり、可決するものと決定いたしました。

以上のとおり、ご報告させていただきます。

令和7年3月17日、総務建設常任委員会委員長、鎌田鷹介。

○議長（三輪一雅議員） ありがとうございます。

総務建設常任委員会の皆さんには、当日、長時間にわたり、慎重なるご審査をいただき、ご苦勞様でございました。

これより各常任委員会の委員長報告に対する質疑に入ります。

委員長の報告に対して、ご質疑がある方はご発言ください。

○9番（伊藤好博議員） 議長。

○議長（三輪一雅議員） 9番議席、伊藤好博議員。

○9番（伊藤好博議員） 7年度の歳出予算、156ページの災害対策経費のところ、委員会でも、質問は出ておりましたが、答弁としては、骨格予算であり、補正予算で要求するとの答弁でした。先ほど委員長のそういう報告でしたが、防災訓練というのは、命を守る大事な訓練だと思うのですが。

○議長（三輪一雅議員） 伊藤好博議員に申し上げますが、伊藤好博議員は、総務建設常任委員会の委員ですよ。

○9番（伊藤好博議員） 私は、委員ではありません。教育民生の委員です。

○議長（三輪一雅議員） 失礼しました。続けてください。

○9番（伊藤好博議員） 災害対策経費の防災訓練費が委員の中から、入っていないという質問が出ておりました。しかし、それは骨格予算で、補正予算で要求するという答弁でありましたが、町民の命を守る大事なこの防災訓練費が、骨格予算であるにしても、予算化されていないということは、強く要求はされませんでした。委員会の中では、私は命を守る大事な訓練、補正で1回か2回かどういった要求されるかわからない中で、骨格予算でも予算化すべきだと思いますが、答弁をお願いします。

○議長（三輪一雅議員） 伊鎌田鷹介委員長、ご答弁願います。

ここで、暫時休憩といたします。

午前10時48分休憩

午前10時51分再開

○議長（三輪一雅議員） 休憩を解き、本会議に戻します。

鎌田鷹介委員長、ご答弁願います。

○3番（鎌田鷹介議員） 議長。

○議長（三輪一雅議員） 鎌田鷹介委員長。

○3番（鎌田鷹介議員） 災害対策費について今、ご質問があったのですけれども、当日の審査内容で防災訓練に関する経費についての質疑が出て、骨格予算のため当初予算で計上していませんが、訓練内容も含めて検討し補正予算で計上したいと考えていますという答弁でしたのでそのままご報告させていただきました。

以上です。

○議長（三輪一雅議員） 他に、ご質疑ございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（三輪一雅議員） ご質疑もないようですので、これで質疑を終わります。

以上をもちまして、本日の議事日程は全て終了いたしました。

本日はこれにて散会といたします。

午前10時52分散会

○議長（三輪一雅議員） 議員の皆様方には、慎重なご審議ありがとうございました。

また、加藤町長をはじめ執行部の皆様方には、大変ご苦勞様でございました。

なお、最終日は3月19日午前9時より再開されますので、ご出席を賜りますようお願い申し上げます。

本日は、たいへんご苦勞様でございました。